

6 学年 算数科学習指導案

日 時	平成 16 年 9 月 29 日 (水)	6 校時
児童数	第 6 学年 男 27 名 女 20 名	計 47 名
指導者	タケコプターコース	佐々木由美子
	どこでもドアコース	高橋 秀和
	タイムマシンコース	菊池 康幸
場 所	タケコプターコース	6 年 1 組
	どこでもドアコース	6 年 2 組
	タイムマシンコース	できたぁルーム

1 単元名 「分数のかけ算とわり算を考えよう」

2 単元について

(1) 教材について

本単元のねらいは、「分数の乗除計算の意味とその計算のしかたについて理解し、それを用いる能力を伸ばす。」ことである。

分数については、これまでに分数の表し方とその意味、分数の性質、分数の加法・減法を中心に学習してきた。

本単元では、乗数が整数、分数の場合の乗法の意味や計算のしかたと除数が整数、分数の場合の除法の意味や計算のしかたを指導する。

分数の乗法・除法の指導はその意味の指導と計算の指導という 2 つの側面から考えることができる。

分数の乗法の意味指導は、乗数を分数に拡張することが重要である。乗数が整数の場合と対比して、乗数が分数の場合にも 1 つ分の量 \times いくつ分 = 全体量の関係がとらえられるようにすることが大切である。その際、数直線図をもとに被乗数、乗数と積の関係が整数や小数のときと同じになっていることをとらえさせる。

分数の計算のしかたは、「分母どうし、分子どうしをそれぞれかける」という形式でまとめられる。この形式を導くために既習事項や乗法の性質を用いて考えさせる。

分数の除法の意味指導は、等分除の場面で 1 つ分の量 (1 あたりの量) を求める演算 (全体量 \div いくつ分 = 1 つ分の量) ととらえることが大切である。これは、乗法の逆演算という意味でもある。除法の意味指導では、数直線をもとに被除数、除数と商の関係が整数や小数のときと同じになっていることをていねいに扱いたい。

分数の除法の計算のしかたは、「わる数の分母と分子をいれかえた分数をかける」とまとめることができる。この計算のしかたを覚えるのではなく、この計算のしかたを導く過程を数直線図や除法に関する性質を根拠にていねいに扱いたい。

第 1 小単元では、分数 \times 整数と分数 \div 整数の指導、第 2 小単元では、分数 \times 分

数の指導，第3小單元では，分数÷分数の指導，第4小單元では，分数の日常での活用場面として時間の分数表示の指導を進めていく。

(2) 児童について

児童は，少人数での学習は3学年のころから行っており，抵抗なく意欲的に取り組む様子が見られる。アンケートの結果から，少人数でのよさとして，「発言しやすい」「他の組の人とも学習できる」「丁寧に教えてもらえる」「楽しい」「自分のペースでできる」等を挙げている。ただし，習熟度別学習において，選んだコースで問題をこなす速さについていけるかどうかという不安を抱えている児童も見られる。そこで，1単位時間に挑戦する問題数の提示の仕方などに配慮するようにしたい。

かしの木テストの結果をみると，既習事項については，72%程度できているというのが実態である。分数の意味や性質については，「1 $\frac{1}{3}$ は $\frac{1}{3}$ が3個集まったかさ」「6の倍分を求める」という問いに対しては無答・誤答が多く見られ，分数の基本を十分理解しているとはいえない。また，分数のたし算，ひき算の計算問題では，通分・約分の段階で誤答が見られた。具体的操作の体験や，1という大きさを何等分にしているかを考えさせるなど，既習の学習内容を振り返る必要がある。未習事項については，47名中全問正解が1名，正解0が，18名であった。

作業スピードや理解するまでの時間等，個人差が大きいという部分も考慮に入れて指導していかなければならない。

(3) 指導にあたって

コースの分け方について

本單元では，タケコプター（10人程度。実物に近いものを操作して，確かめながら一つ一つ進めていくコース），どこでもドア（20人程度。課題に対して，面積図や数直線を利用しながら自分の考えをまとめるコース），タイムマシン（20人程度。課題に対して，自分で工夫して考え，お互いに分かりやすく説明しあって進めるコース。習熟の段階で発展問題を取り入れる。）の3コースに分けて少人数指導を行う。

コースの分け方については，児童の希望優先を原則としているが，かしの木テストの結果等を考慮したうえで，コースの特色を伝え面談しながら，決定している。全18時間の長い学習であるため，小單元ごとに児童のコース希望を取り直し，移動を可能にしている。

指導観

本單元では，分数×整数，分数÷整数（第1小單元），分数×分数（第2小單元），分数÷分数（第3小單元）の3つの内容を中心に構成している。単元全体を通しての指導では，整数や小数の乗法・除法などの既習事項をもとにして，分数の乗法・除法の意味をとらえさせ，計算の過程を大切にしながら，計算のしかたの理解を図っていく。さらに，くりかえし問題を解決していくなかで，分数の乗法・除法の計算の習熟を図っていきたい。その際，計算のしかたのみの習得にならないよう，数直線図や面積図などに関連づけながら，計算の意味を理解させ，

乗法・除法の意味と計算のしかたの両面からとらえられる指導をしていきたい。

タケコプターコースは、今まで学習した基礎的・基本的事項を大切にしながら、学習内容が確実に定着するようできるだけ個別に関わりながら指導していきたい。

どこでもドアコースでは、分数のかけ算やわり算の学習において、未習問題に対して、既習事項を生かして解こうとする姿勢を今まで以上に育てて生きたいと考えている。単純に計算のやり方を教え込むのではなく、その計算の意味を児童一人一人が考えることで、「自分なりに納得してわかった。」という満足感を与えることにつながると思われる。その際、「これまでに習ったことを使うと、解決できるはず。」という思いを持たせていくことで、児童は安心感や自信を抱き、意欲を持って学習に望んでいけると考える。理解力の育ってきた児童を生かしながら、個に応じた指導ができる環境を整え、本単元の学習を進めていきたい。

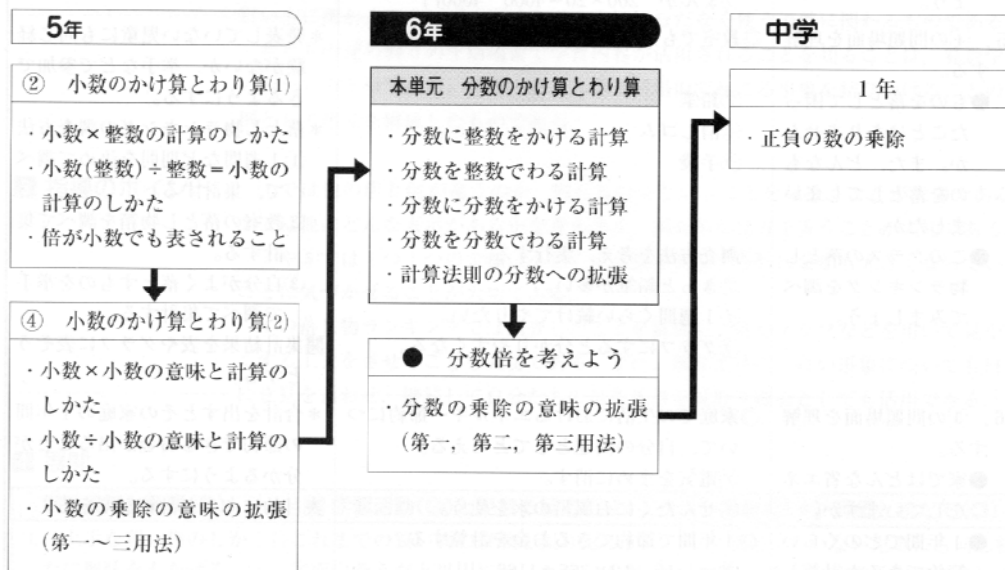
タイムマシンコースは、基礎的な内容の理解が比較的速く、発表に意欲的な児童が多いので、個々の考えを生かしながら、より確かな理解の定着を図っていきたい。さらに、発展的な課題を与えながら、基礎・基本のより確実な定着を図るとともに、発展的思考力を身に付けさせていきたい。

3 単元の目標

分数の乗除計算の意味とその計算のしかたについて理解し、それをを用いる能力を伸ばす。

- | | |
|------------|---|
| 【関心・意欲・態度】 | ・分数の乗除計算のしかたを、既習の分数の性質、計算と関連づけて考えようとする。 |
| 【数学的な考え方】 | ・既習の分数の性質、計算と関連づけて、分数の乗除計算のしかたを考えようとする。 |
| 【表現・処理】 | ・分数の乗除計算ができる。 |
| 【知識・理解】 | ・分数の乗除計算の意味やその計算のしかたを理解する。 |

4 教材の関連と発展 - 指導書（研究編）



5 単元の指導計画及び評価規準（全18時間）

時	学習活動	観 点	評価規準			評価の 方法
			A	B	指導の手立て	
分数の かけ算と わり算	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分数×整数の計算の意味や計算のしかたを考える。 ・ 整数, 小数, 分数の計算を振り返り, 未習の計算について考える。 ・ 分数×整数について一般化してまとめる。 	関・意・態	分数×整数の計算のしかたを, 図などを用いて考え説明しようとする。	分数×整数の計算のしかたを考えようとしている。	かけられる数を小数に直して考えられそうなことを確認する。	観察 ノート 発言
		考 え 方	計算の意味について単位分数のいくつ分ととらえ, 整数の乗法に帰着して考えている。	計算の意味について, 整数の乗法に帰着して考えている。	数直線に着目させて, 単位分数のいくつ分になるか考えさせる。	
		知・理	分数×整数の計算のしかたを理解し, 積極的に利用している。	分数×整数の計算を理解している。	分母はそのままにして, 分子にかけることを確認する。	
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分数×整数の計算で簡単に答えを求める方法を考える。 ・ 練習問題を解決する。 	考 え 方	途中で約分を用いることよさを考え筋道立てて説明できる。	途中で約分を用いることよさを考え説明できる。	途中で約分するほうが分母と分子の数が大きくならずすむことに気づかせる。
表・処	p 60 3問中全問正解(途中で約分している)	p 60 3問中全問正解(最後に約分している)	約分ができるところはどこか確かめ, 計算の途中で約分できることに気づかせる。			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分数÷整数の計算の意味を考える。 	考 え 方	計算の意味について図や数直線などを用いて考え, 説明しようとしている。	計算の意味について, 単位分数のいくつ分ととらえて考えている。	わられる数を小数に直して考えられそうなことを確認する。	観察 ノート 発表資料

	5	<ul style="list-style-type: none"> 分数÷整数について一般化してまとめる。 練習問題を解決する。 	知・理	分数÷整数の計算のしかたを理解し、積極的に利用している。	分数÷整数の計算のしかたを理解している。	わり切れるためには、分子がどのような数になればよいか考えさせ、同値分数に気づかせる。	ノート観察
		表・処	p 6 2 3問中全問正解	p 6 2 3問中2問正解 (約分わすれなど)	同値分数の作り方を確かめ正しく計算できるようにする。		
	6	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題を解決する。 解き方を確かめる。 	表・処	練習プリント85 頁以上	練習プリント70 頁以上	既習の計算のしかたを振り返る(教科書・ノート・掲示等)	ノート習熟プリント
		意・関・態	学習したことを生かして積極的に習熟を図っている。	学習したことを生かして習熟を図っている。	ノートを振り返らせ、正確に計算できるようにする。		
分数のかけ算	1. 2	<ul style="list-style-type: none"> 真分数×真分数の計算のしかたを考える。 分数×分数について一般化してまとめる。 練習問題を解決する。 	考え方	真分数×真分数の計算のしかたについて既習事項や面積図、数直線などを用いて考え、説明しようとしている。	真分数×真分数の計算のしかたについて考えている。	教科書の図などを手がかりにして、分数の意味にもどって考えられるようにする。	観察 ノート 発表資料
		知・理	真分数×真分数の計算を理解し、積極的に利用している。	真分数×真分数の計算を理解している。	分母同士分子同士をかければよいことを確認する。		
		表・処	p 6 5 6問中全問正解	p 6 5 6問中4問正解	計算のしかたを確かめさせる。かけ算九九を想起させる。		
	3	<ul style="list-style-type: none"> 途中で約分できる計算のしかたを工夫する。 練習問題を解決する。 	関・意・態	途中で約分を用いることよさを考え筋道立てて説明できる。	途中で約分を用いることよさを考え説明できる。	途中で約分するほうが分母と分子の数が大きくならずにすむことに気づかせる。	観察 ノート 発言
		表・処	p 6 6 8問中7問正解	p 6 6 8問中5問正解	約分を想起させる。整数を分数表示して計算するよう促す。		
	4	<ul style="list-style-type: none"> 分数の場合も計算のきまりが成り立つことを調べる。 練習問題を解決する。 	考え方	既習の計算法則をもとにして分数の場合にも計算法則が成り立つことを考え、説明しようとしている。	既習の計算法則をもとにして分数の場合にも計算法則が成り立つか考えている。	既習の計算法則を振り返らせ、分数を当てはめても計算できることを確かめる。	観察 ノート 発言
		知・理	p 6 7 2問中2問正解 (計算のきまりを使っている)	p 6 7 2問中2問正解	どの法則を用いればよいか確かめさせる。		
	5	<ul style="list-style-type: none"> 「練習」をする。 条件に合っ 	処表	練習 9問中8問正解	練習 9問中6問正解		観察 ノート プリント

			関・意・態	学習したことを生かして積極的に習熟を図っている。	学習したことを生かして習熟を図っている。			
分数のわり算	1・2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 分数÷分数の計算のしかたを考える。 分数÷分数について一般化してまとめる。 練習問題を解決する。 	考 え 方	真分数÷真分数の計算のしかたについて既習事項や面積図，数直線などを用いて考え，説明しようとしている。	真分数÷真分数の計算のしかたについて考えている。	教科書の図などを手がかりにして，分数の意味にもどって考えられるようにする。	観察 ノート 発言 発表資料	
			知・理	真分数÷真分数の計算のしかたを理解し，積極的に利用している。	真分数÷真分数の計算のしかたを理解している。			わる数の分母と分子を入れかえた数をかけることを確認する。
			表・ 処	p 7 1 6 問中全問正解	p 7 1 6 問中 4 問正解			
	3	<ul style="list-style-type: none"> 途中で約分できる計算の仕方を工夫する。 練習問題を解決する 	関・意・態	途中で約分を用いることのよさを考え筋道立てて説明できる。	途中で約分を用いることのよさを考え説明できる。	途中で約分するほうが分母と分子の数が大きくならずすむことに気づかせる。	観察 ノート 発言	
			表・ 処	p 7 2 8 問中 7 問正解	p 7 2 8 問中 6 問正解	整数を分数表示して計算するよう促す。		
4	<ul style="list-style-type: none"> 3口の分数の乗除混合計算のしかたを工夫する。 練習問題を解決する。 	知・理	3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解し，積極的に利用している。	3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解している。	分数のわり算は，かけ算におおせることに気づかせる。	観察 ノート 発言		
		表・ 処	p 7 3 3 問中 3 問正解 (途中で約分している)	p 7 3 3 問中 2 問正解	途中で約分する良さに気づかせる。			
5	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題を解決する。 解き方を確かめる。 	表・ 処	練習プリント 8 5 5 以上	練習プリント 7 0 5 以上	ノートを振り返らせ，正確に計算できるようにする。	観察 ノート プリント		
		意・関・ 態	学習したことを生かして積極的に習熟を図っている。	学習したことを生かして習熟を図っている。				
時間と分数	1	<ul style="list-style-type: none"> 時間の分数表示のしかたを考える。 	表・ 処	p 7 4 3 問中全問正解	p 7 4 3 問中 2 問正解	時計の図を指定された分数に分ける活動を通して，分数と時間のかわりを考えさせる。	観察 ノート 発言	
まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題を解決する。 解き方を確かめる。 	表・ 処	練習プリント 8 5 5 以上	練習プリント 7 0 5 以上	ノートを振り返らせ，正確に計算できるようにする。	観察 ノート プリント	
			意・関・ 態	学習したことを生かして積極的に習熟を図っている。	学習したことを生かして習熟を図っている。			

6 本時の指導 (1 3 / 1 8)

(1) 本時の目標

真分数 ÷ 真分数の計算のしかたを理解し、その計算ができる。

【表現・処理】 真分数 ÷ 真分数の計算ができる。

【知識・理解】 真分数 ÷ 真分数の計算のしかたを理解している。

(2) 本時の展開 (タケコプターコース)

前時は、第3小単元「分数のわり算」に入って第1時間目である。数直線図や言葉の式をもとに立式し、ゆうじさんの考えを集団解決する中で、分数の意味に戻って計算方法を考えていることを学習した。

調べる段階は、集団解決とし、児童の気づきを大切にしながら、分数のわり算の計算のしかたを理解させていきたい。そのため、穴埋めのプリントを用意し、既習事項を活用しながら一つ一つ段階を踏んで解決させていきたい。既習事項は掲示し、つねに振り返りながら学習を進めることができるようにする。

網掛け ----- 「学びの広がり」に関わって
 ・ ----- 個に応じた支援

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価
つ か む 8 分	<p>1 問題を把握する。 前時の学習を振り返る。 T：昨日はどんな学習をしましたか。 C：$\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$の計算のしかたを考えました。 P70のゆうじさんの計算方法について確認する。 T：昨日考えた計算のしかたを思い出してみましょう。</p> <p>2 課題を把握する。 分数 ÷ 分数の計算のしかたを考えよう。</p>	<p>算数コーナーを活用する。</p> <p>前時に集団解決した計算方法は、分数の意味に戻って考えていることを確認する。</p>
見 通 す 2 分	<p>3 課題の解決方法を確認する。 T：今日は、別の計算のしかたを考えてみましょう。 T：何をもとに考えますか。 C：今まで習ったことを使います。 C：黒板からさがして、考えます。</p>	<p>解決の手がかりになるように、既習事項を掲示した黒板を用意しておく。</p>

<p>調べる</p> <p>12分</p>	<p>4 課題を解決する。 P71のなおこさんの計算方法を考える。 T：なおこさんの計算のしかたを考えてみましょう。 C：(集団解決をする。) T：今までの学習からどんなことを使って考えていますか。 C：わり算のきまりです。</p>	<p>なおこさんの考え方を穴埋め形式にしたプリントを配付する。</p> <p>わり算のきまりを活用していることに気づかない場合は、教師から提案する。</p>
<p>確かめる</p> <p>7分</p>	<p>5 課題の検討をする。 2つの考えを検討する。 T：同じところや似ているところ、違うところを見つけましょう。 C：わり算がかけ算になっている。 C：分母にも分子にもかけている。 C：わる数の分母と分子が入れかわっている。</p> <p>類似問題をする。 T：別の式でも計算できるか確かめてみましょう。</p>	<p>既習事項の分数×整数，分数÷整数を用いて解決していることを算数コーナーで確認する。 いずれの方法もわる数の分母と分子を入れ替えてかける計算になっていることを確認する。</p> <p>分数÷分数の計算のしかたを一般化する。</p> <p>【知識・理解】 真分数÷真分数の計算のしかたを理解している。</p>
<p>まとめる</p> <p>16分</p>	<p>6 課題をまとめる。 分数÷分数についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>分数÷分数 わる数の分母と分子を入れかえた数をかける。</p> </div> <p>7 練習問題を解く。 P71の練習問題を解く。 早く終わったら、計算スキルをする。</p> <p>8 本時を振り返る。 自己評価する。 感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1問目は確認し，他の問題は自分で丸をつけて，確認するように指示する。机間指導をしてみずきのある児童に支援する。 ・ つまずきのある児童には，ヒントカードを渡す。 <p>【表現・処理】 真分数÷真分数の計算ができる。</p> <p>本時の学習を通し，分数のわり算の計算のしかたについて分かったことを書くように話す。</p>

(3) 板書計画

分数 ÷ 分数の計算のしかたを考えよう。

分数 ÷ 分数
わる数の分母と分子を入れかえた数をかける。

ゆうじさんの考え

なおこさんの考え

練習問題

気がついたこと

類似問題

(2) 本時の展開(どこでもドアコース)

分数÷分数の計算のしかたを考える際、既習事項を使って計算の意味を説明しようとする姿勢を大切に扱いたい。そして、確かめる段階で、児童一人一人の考え方から共通点を見つけ出し、計算のきまりに気づくように支援したい。

網掛け-----「学びの広がり」に関わって
 ・-----個に応じた支援

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価
つかむ 3分	<p>1 今日の課題を確認する。 課題を読み、前時の学習を想起する。 T：今日の学習課題を読みましょう。 C：今日の課題を読む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 分数÷分数の計算のしかたを考えよう。 </div>	<p>前時に学習したノートを開いて確かめるようにする。</p>
見通す 2分	<p>2 課題の解決方法を紹介する。 $\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$の計算のしかたを説明する方法がいくつあったのを確認する。 T：$\frac{2}{5} \div \frac{3}{4}$の計算のしかたの説明には、どんな方法がありましたか。 C：面積図です。 C：数直線です。 C：計算のきまりを使ってです。</p>	<p>自分と同じ解決方法について、挙手で確認する。</p>
確かめる	<p>3 課題の検討をする。 前時に考えておいた自分の考えを発表する。 T：面積図から、自分の考えを発表します。 C：$\frac{2}{5}$㎡ぬれるペンキが$\frac{3}{4}$dLあるので、このペンキ$\frac{1}{4}$dLでは、$\frac{2}{5}$㎡の面積を3等分します。すると、$\frac{2}{15}$㎡になります。 1dLでは、これが4つ分なので$\frac{2}{15} \times 4 = \frac{8}{15}$㎡となりました。</p>	<p>発表者に付け足したいことがあれば、付け足して話していることを伝える。</p> <p>発表が終わるごとに、つけたしや質問などがないか確かめる。</p>

<p>確かめる</p> <p>25分</p>	<p>T：次に，数直線の考えを発表します。</p> <p>C：ペンキ $\frac{1}{4}$ dL でぬれる面積を求めるには， $\frac{2}{5} \div 3$ をします。 $\frac{2}{15}$ m² となります。これが4つ分で，1 dL になるので， $\frac{2}{15} \times 4$ をします。すると， $\frac{8}{15}$ m² となりました。</p> <p>T：計算のきまりを使った考えを発表します。</p> <p>C： $\frac{2}{5}$ と $\frac{3}{4}$ のどちらにも，4 をかけます。すると， $(\frac{2}{5} \times 4) \div 3$ となります。 $\frac{8}{5} \div 3$ なので， $\frac{8}{15}$ となります。</p> <p>それぞれの考えを検討する。</p> <p>T：これらの考えから，分数÷分数の計算のしかたで同じところや似ているところを見つけましょう。</p> <p>C：小集団での意見交流をする。</p> <p>T：見つけたことを発表しましょう。</p> <p>C：やり方の順番が違っていても，最後のかけ算のやり方はどれも同じになっている。</p> <p>C：わり算なのに，かけ算になっている。</p>	<p>面積図や数直線の説明で，話しきれない部分は，教師が補足する。</p> <p>・ $\frac{2}{5}$ を $\frac{24}{60}$ と分数の大きさを変えて， $\frac{3}{4}$ で割り切れるようにしている考えがあれば取り上げる。</p> <p>児童が共通点を見つけることができるように，小集団での意見交流をする。</p> <p>・ 分数÷分数のわり算は，わる数の分母と分子をいれかえてかけていることに気づくように，意見を拾い出す。</p> <p>【知識・理解】 真分数÷真分数の計算のしかたを理解している。</p>
<p>まとめる</p> <p>15分</p>	<p>4 課題をまとめる。 類似問題をする。 T：別の式でも，この方法が使えるか確かめてみましょう。 C：できそうだ。</p> <p>学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>わる数の分母と分子を入れかえた数をかける。</p> </div> <p>5 練習問題を解く。 P 71 の 6 問をとく。 終わったら，計算スキルに挑戦する。</p>	<p>類似問題で，まとめたことが使えるかどうか確かめてから，練習問題に取り組むようにする。</p> <p>黒板で，真分数÷真分数の計算のしかたを操作して確かめることができるように板書を工夫する。</p> <p>【表現・処理】 真分数÷真分数の計算ができる。</p>

6 本時を振り返る。

自己評価する。

感想や分かったことを書く。

- ・ 発展問題を用意して、より理解を深めさせたい児童に対応できるようにする。
- ・ p 7 1 の 1 問はチェックする。他の問題は自分で丸を付けさせ、つまづいている児童を支援する。

次時の予告をする。

- ・ 本時の学習で、分数のわり算の計算のしかたについて分かったことを書くように指示する。

(3) 板書計画

9 / 2 9 p 6 9

分数 ÷ 分数の計算のしかたを考えよう。

わる数の分母と分子を入れかえた数をかける。

面積図

数直線

計算

児童の考え

$$\begin{aligned} \text{---} \div \text{---} &= \text{---} \times \text{---} \\ &= \frac{\times}{\times} \end{aligned}$$

計算の答えを確かめる。

(2) 本時の展開(タイムマシンコース)

自分で取り組んだ方法をみんなに分かりやすく発表し合う中で、それぞれの共通している部分に気づき、一般化してまとめられるようにする。また、発展的なチャレンジ問題に取り組ませ、基礎的・基本的事項のより確かな定着を図る。

網掛け-----「学びの広がり」に関わって
 .----- 個に応じた支援

段階	学 習 活 動	支 援 と 評 価
つかむ 3分	1 問題を把握する。 問題を確認する。 2 課題を把握する。 課題を確認する。 分数÷分数の計算のしかたを考えよう。	前時の続きなので、一斉読みでの確認のみにする。
見通す 2分	3 課題解決の方法を確認する。 課題解決方法を確認する。 ・面積図で ・数直線図で ・式から変形させて	自分のやり方と比較して発表を聞けるように、どの方法で取り組んだかを挙手で確認する。
確かめる 20分	4 課題の検討をする。 調べたことを発表し合う。 ・面積図で ・数直線図で ・式から変形させて 3つの方法の中で共通している部分を確認する。 T：共通している部分で気づいたところはありませんか。 C：わる数の分子と分母が入れかわってかけ算になっています。	より分かりやすい発表になるように、同じ方法で考えた児童が補助発表できるように支援する。 ・共通している部分分かるように、板書に明示する。

ま と め る 20 分	<p>5 課題をまとめる。 分数でわる計算のしかたについて一般化してまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> わる数の分母と分子を入れかえた数をかける。 </div> <p>6 練習問題を解く。 練習問題に取り組む。</p> <p>7 本時を振り返る。 自己評価する。(理解度, 一言) 感想やわかったことを書く。</p>	<p>一般化の式については, 形を色分けするなど, 分かりやすいように工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p 7 1 の 1 問目は確認し, 他の問題は自分で丸をつけて, 確認するように指示する。机間指導をしてつまずきのある児童に支援する。 ・ 終わった児童にはチャレンジ問題に取り組めるようにプリントを準備する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 約分あり(次時の問題) ・ 帯分数の問題 <p>【表現・処理】 真分数÷真分数の計算ができる。</p> <p>【知識・理解】 真分数÷真分数の計算のしかたを理解している。</p>
---------------------------------	---	--

(3) 板書計画

9 / 2 9 p 6 9

問題

分数÷分数の計算のしかたを考えよう。

面積図

(児童発表)

数直線図

(児童発表)

式変形

(児童発表)

分数でわる計算は, わる数の分母と分子を入れかえた数をかけます。

図の式

(4) 本時の評価

- 【表現・処理】 真分数÷真分数の計算ができたか。
- 【知識・理解】 真分数÷真分数の計算のしかたを理解しているか。